

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 7日	
都道府県知事 (市長)	殿
	提出者 住 所 大分県杵築市大田永松13番地 氏 名 長谷雄牧場有限会社 代表取締役 長谷雄一彦 電話番号 0978-52-3138
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。 〇	
事業場の名称	長谷雄牧場有限会社
事業場の所在地	大分県杵築市大田永松13番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01農業
② 事業の規模	肉用牛 579頭
③ 従業員数	7人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿・・・自らたい肥化 動物の死体・・・化製場へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長（廃棄物統括責任者）

廃棄物処理方針の決定

廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認

事務員（廃棄物実務責任者）

廃棄物処理計画の作成

委託契約の締結事務

産業廃棄物管理表の交付・管理

行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	6016 t	2.5 t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	5376 t	2.5 t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 該当なし
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4049 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3618 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1967 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1758 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	t	2.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は化製場に委託処理している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処 理 委 託 量	t	2.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化製場に委託し処理している		
※事務処理欄			